

副知事のベトナム訪問の概要について

野呂副知事は、ベトナム外務省、フエ市及び在ベトナム日本国大使館が主催する「日本・ベトナム地方協力フォーラム」に参加するため、ベトナムを訪問しました。

9月5日（土）、6日（日）は、フエ市で開催されたフォーラムに出席し、特産品展示スペースで三重県の食や観光のPR、ベトナム政府機関等との意見交換、フン・ベトナム首相との会談及び三重県の産業や観光等に関するプレゼンテーションを行いました。

また、9月7日（月）は、ハノイ市で、ハノイ工科大学、住友電装株式会社のグループ会社である SUMI-HANEL Wiring Systems Co.,Ltd. を訪問しました。

【9月5日（土）】日本・ベトナム地方協力フォーラム 1日目

1－1 特産品展示会

（1）場 所 Song Huong 劇場（フエ市内）

（2）出席者

（対象者）ベトナムの政府関係者、地方政府関係者及び企業関係者などフォーラム参加者

（三重県）副知事 野呂 幸利

（3）概 要

フォーラム会場の特産品展示ブースにおいて、三重の食や観光のPRを行いました。野呂副知事は、三重県の法被を着用しパンフレットや伊勢茶ティーバックを配布して、三重の魅力を伝えました。また、ベトナムへ輸出している三重県の日本酒の試飲も行いました。

ブースを訪れた方からは、「三重県に美しい自然や観光地がたくさんあり興味を持った。」、「三重の日本酒は非常においしい、もっと知りたい。」、「忍者はアニメで知っている。三重を一度訪ねてみたい。」といった感想があり、訪問者は150人を超えて盛況でした。



（特産品PRの様子）

1-2 G2Gネットワーキングセッション（ベトナム内務省）

（１）場 所 Silk Path Grand Hotel（フエ市内）

（２）出席者

（相手方）ベトナム内務省 次官 カオ・ファイ

国際協力局長 ドー・ミン・ホアイ

（三重県）副知事 野呂 幸利

（３）概 要

令和7年1月に一見知事がベトナムを訪問し、ベトナム内務省（旧労働・傷病兵・社会問題省）と、ベトナム人労働者の送出し・受入れに関するMOUを締結しました。今回は、フォーラムに参加したベトナム内務省次官との意見交換を行いました。

野呂副知事からは、内務省とのMOUに基づく取組を通じ、三重県における人手不足の緩和だけでなく、ベトナム人労働者の技能向上など、双方の発展につなげていきたいと、今後の関係強化に向けた思いを伝えました。

カオ・ファイ次官からは、三重県での研修では技術だけでなく規律や作法も学べると聞いており、高く評価している。今後もセミナーやジョブフェアの開催などの取組を進めるよう協力の要請がありました。また、三重県で働くベトナム人労働者の待遇改善について支援要請がありました。

野呂副知事からは、みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）での相談対応などによる生活支援や、企業の環境整備に向けたセミナー開催について紹介しました。また、給与水準の改善や独自の奨学金制度を設ける県内企業の事例を紹介し、県内企業にも発信を検討していることを伝えました。



（意見交換の様子）



（記念撮影）

1-3 フェ市内の文化施設の視察

- (1) 場 所 グエン朝王宮（フェ市内）
- (2) 出席者 日本から参加した自治体関係者
(三重県) 副知事 野呂 幸利
- (3) 概 要

フェ市には「フェの建造物群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されている、ベトナム最後の王朝であるグエン朝の王宮が残されており、フォーラム参加者とともに視察しました。

グエン朝王宮では、広大な面積を有することから電動車両が導入されており、また、外国人観光客が多いことから、二次元コードで読み取る各国語のガイドを設置するなど、訪れる多くの方が見学しやすく、理解を深められる工夫が見られました。



(王宮内の電動車両)



(二次元コードを活用した案内)

1-4 G2Gネットワーキングセッション（バクニン省）

- (1) 場 所 Silk Path Grand Hotel（フェ市内）
- (2) 出席者
(相手方) バクニン省 人民委員会常務副委員長 マイ・ソン ほか
(三重県) 副知事 野呂 幸利
- (3) 概 要

バクニン省は、首都ハノイ市からも近く、ハイテク産業など多くの外資系企業が集積し大きく発展しています。今回はフォーラムに参加した、バクニン省人民委員会常務副委員長との意見交換を行いました。

ソン人民委員会常務副委員長からは、バクニン省の経済成長率は10%を超えベトナム国内で第5位であり、FDI（海外直接投資）が増加している。日本からは累計で131社の進出があるが、バクニン省で生産された製品の品質が高く、ベトナム政府の評価も非常に高い状況にある。三重県からの企業進出も予定されているが、さらに多くの企業進出が進むよう、三重県から後押ししていただきたい、と強い期待が示されました。

野呂副知事からは、三重県内の企業に今後の海外展開先として興味を持つ国をアンケートした結果、ベトナムが第2位になるなど高い関心が示されたことから、令和7年1月に国（財政省）と産業連携に関するMOUを締結したことをお伝えし、まずは国（財政省）とのMOUをベースに成果を出すように取り組んでおり、進出予定企業がある県内市町とも連携していく旨を伝えました。

ソン人民委員会常務副委員長からは、バクニン省は電子・半導体産業の中心地としても位置付けられており、三重県の半導体企業や半導体関連企業にもぜひバクニン省への進出を検討いただきたい、とのお話がありました。



（意見交換の様子）



（記念撮影）

1-5 歓迎レセプション

- （1）場 所 Silk Path Grand Hotel（フエ市内）
- （2）出席者 ベトナムの政府関係者、地方政府関係者及び企業関係者、
日本から参加した自治体関係者などのフォーラム参加者
（三重県）副知事 野呂 幸利
- （3）概 要

2026年ベトナム・日本地方協力フォーラムの歓迎レセプションに参加し、ベトナム政府関係者等と交流しました。また、フエ市の伝統芸能や音楽も披露されました。



（開会挨拶（フエ市代表））



（伝統舞踊（ルックン・ホア・ダン））

【9月6日（日）】日本・ベトナム地方協力フォーラム2日目

2-1 ベトナム首相と日本の地方自治体代表との会談

(1) 場 所 Silk Path Grand Hotel (フエ市内)

(2) 出席者

(相手方) ベトナム社会主義共和国 首相 レ・ミン・フン ほか

(三重県) 副知事 野呂 幸利

(司会者) 在ベトナム日本国大使館 特命全権大使 伊藤 直樹

(他県出席者) 奈良県知事 山下 真

群馬県副知事 大塚 康裕

滋賀県副知事 岸本 織江

京都府副知事 古川 博規

山梨県知事政策補佐官 藤巻 美文 ほか

(3) 概 要

フン・ベトナム首相と日本の地方自治体代表との会談に出席しました。参加した知事や副知事等から、各県の特徴やベトナムとの交流の状況と今後の展開について発表を行いました。

野呂副知事からは、以下の4点を紹介しました。

①三重県は「美し国」と呼ばれ豊かな食文化を有することや、半導体などの電子デバイスの製造品出荷額が全国1位となるなど製造業が盛んであること。

②三重県在住の外国人労働者の中でベトナムの方々が最も多く、ベトナムは三重県にとって非常に重要な国であり、ベトナム内務省や財務省とMOUを締結し、共に取り組んでいること。

③三重県はハノイ工科大学と労働者の送出し・受入に関するMOUを締結しており、9月7日にはハノイ工科大学とキオクシア株式会社の協力による研修プログラムの開講式に出席すること。

④三重県からベトナムへ29社の企業が進出しており、県内企業アンケートにおいても三重県からベトナムに進出したいという企業がたくさんいること。

そのうえで、今回のフン首相との面談を契機に、新たな分野でベトナムと三重県の交流を発展させていきたい、と今後の更なる交流の拡大に向けた決意を表明しました。

各県の発表を受けてフン首相からは、既存のMOUを両国の利益となるようアップデートし、地域の特色を生かして継続することで、経済や文化の交流を実質的・効果的なものとし、信頼関係を作っていただきたい。また、企業の生産活動の拡大に加えて、技術の質を高めることや新たな分野への進出が重要であり、そのための体制整備には最大限の支援を約束するので協力をお願いしたい、と今後の両国間での連携強化への強い期待が述べられました。



(野呂副知事の発言)

2-2 全体討論

(1) 場 所 Song Huong 劇場 (フエ市内)

(2) 出席者

(ベトナム側) ベトナム社会主義共和国 首相 レ・ミン・フン

外務大臣 レ・ホアイ・チュン

ほか政府関係者、地方政府関係者

(日本側) 在ベトナム日本国大使 伊藤 直樹 ほか

(三重県) 副知事 野呂 幸利

(3) 概 要

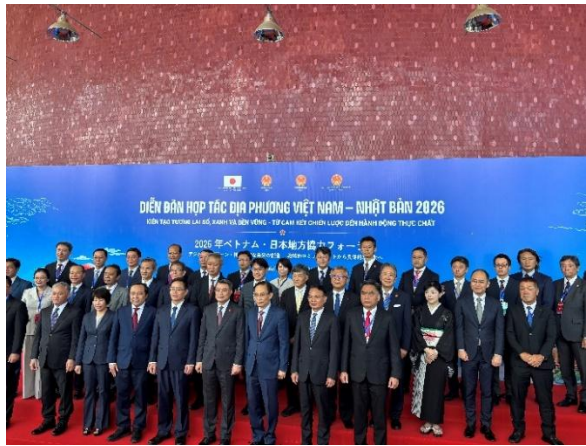
全体討論の第1セッション「ベトナム・日本地方イノベーションエコシステム：デジタル変革の推進とスマートで持続可能な都市づくり」に登壇しました。

野呂副知事からは、冒頭に三重県の概要やベトナムとの関係について説明し、半導体関係企業が集積していることや、半導体人材の育成・確保を推進するために設立した「みえ半導体ネットワーク」について紹介しました。また、「ゼロエミッションみえ」として脱炭素と経済発展との両立に向けた取組を行っており、三重県にある100社以上の半導体関連企業や石油化学コンビナートの会社などと、三重県全体でCO₂の削減などに向けた協議会を組織し、取り組んでいることを紹介しました。

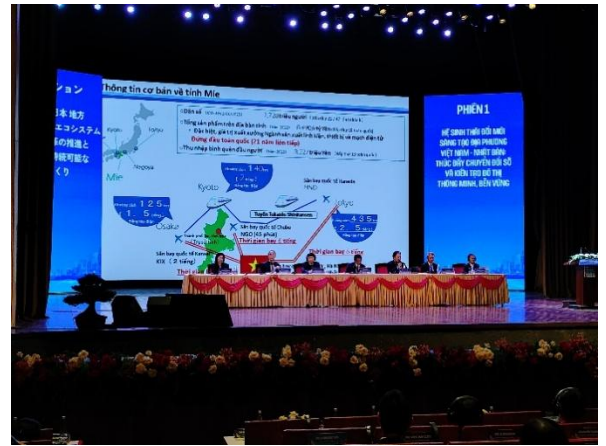
さらに、三重県はハノイ工科大学と労働者の送出し・受入に関するMOUを締結しており、明日はハノイ工科大学とキオクシア株式会社の協力による研修プログラムの開講式に出席するなど、産官学で連携しながら様々な取組を進めていることを紹介しました。

最後に、ゼロエミッションの精神として、伊勢神宮の式年遷宮において、再生可能な木材を使用し技術を継承しながら伝統をつないでいることを紹介し、三重県の豊かな文化や観光地を是非訪れていただきたい、とプレゼンテーションを締めくくりました。

進行を務めた在ベトナム日本国大使からは、昨年の一見知事のベトナム訪問に続き野呂副知事にもお越しいただいたことに、敬意を表し感謝申し上げる。三重県とベトナムの産官学の成功モデルとしてハノイ工科大学との取組を紹介いただいたが、事業の発展と成功を心からお祈りする、とのコメントがありました。



(記念撮影)



(野呂副知事のプレゼンテーション)

【9月7日（月）】

3-1 ハノイ工科大学訪問

(1) 場 所 ハノイ工科大学（ハノイ市）

(2) 出席者

（相手方）ハノイ工科大学

副学長 フィン・ダン・チン

電気電子工学部 学部長 グエン・フー・タイン

材料科学工学部 副学部長 グエン・ドゥック・ホア

キオクシア株式会社

人事総務部人事室 室長 新納 利信

人事総務部採用センター 参事 田中 瑠衣

ハイフオングループ

会長 グエン・スアン・トゥエン

国際協力部長 グエン・チャウ・ザン

（三重県）副知事 野呂 幸利

雇用経済部障がい者雇用・就労促進課 課長 山田 晶 ほか

(3) 概 要

学生の就職支援や日本語教育などに関するMOUを令和7年1月に締結しているハノイ工科大学を訪問し、副学長を表敬訪問しました。また同日に開催された研修プログラム（キオクシア株式会社とハノイ工科大学との協力により開催）の開講式に出席し、受講者を激励しました。

野呂副知事と副学長との面談では、MOUの具現化に向け、さらなる連携の深化について意見交換を行いました。また、開講式の挨拶では、開講にあたってのお祝いとともに、参加した学生に対し、日本の半導体産業および経済の発展に寄与できる人材になることへの期待を伝えました。さらに、産学官が連携した取組をさらに進めていくことを説明しました。

開講式終了後には、三重県主催の日本語講座の受講生であるハノイ工科大学の学生と交流しました。



（副学長との面談）



（開講式の副知事挨拶）



(開講式の記念撮影)



(ハノイ工科大学の学生との交流)

3-2 SUMI-HANEL Wiring Systems Co.,Ltd. 訪問

(1) 場 所 SUMI - HANEL Wiring Systems Co.,Ltd. (ハノイ市)

(2) 出席者

(相手方) SUMI - HANEL Wiring Systems Co.,Ltd.

社長 橋村 昌弘

副社長 蒲 拓也

(三重県) 副知事 野呂 幸利

雇用経済部障がい者雇用・就労促進課 課長 山田 晶 ほか

(3) 概 要

平成8年6月にハノイで創業し30周年を迎える住友電装株式会社のグループ会社であるSUMI - HANEL Wiring Systems Co.,Ltd.を訪問しました。同社が製造するワイヤーハーネスの製造工程を見学しました。

ベトナムの最新の自動車関係の動向とともに、ベトナムで事業を行うことのメリットや可能性について情報収集を行いました。また、近年競争が激化しているベトナムにおける人材確保の観点でも意見交換を行いました。



(記念撮影)